

窓

京都新聞 令和元年（2019年）6月12日（水）

弟のプレゼント 夢へ力に

城陽市・南本 葵衣（大学生・19）

昨春、私は子どもに関わる仕事に就きたくて、幼児教育などが学べる大学へ入

学した。入学初日から、学校生活はとても楽しかったが、勉強は想像以上に大変で毎日が課題に追われつらかった。次第につらい思いで自分が押しつぶされそうになり、子どもに対して、

かわいとか関わりたいとか、思えなくなっていた。

自分で決めた道を、諦めようとまで思った。しかし、そんな私を7歳の弟が救ってくれた。3月の私の誕生日前に、弟がサプライズプレゼントをくれた。中身は私の好物ばかりだった。「お姉ちゃんの好きな物、僕全部知ってる」と自慢げ

に話してくれた。

その姿を見た私は、心の底から子どもをかわいと思えることができた。そして子どもに関わる仕事を諦めたくない、思うことができた。2回生になった私は、子どもに関わる仕事をする夢に向かい、つらいことも乗り越えながら、全力で頑張りたいと改めて強く思っている。